

団体名：無料学習塾 日野すみれ塾

活動地域：日野市

助成額：79,978 円

ブログ：<https://ameblo.jp/sumirejyuku>

【当初の目的に対しての結果】

子どもたちの環境も変わり、成長ホルモンや心理的に不安定になり学校の規則にそった時間に対応できづらいお子さんも増えてきた。そのようなお子さんにも、二日間を通して授業が行える合宿は大変意味のある時間になった。教室授業と違い時間に余裕があるため、そのお子さんの体調や気持ちにあわせて指導することが可能となった。例年、合宿では通常授業でできないたくさんの体験を通して深い学びをしてもらいたいと企画し、毎年夏、冬休みにはいつでもすぐ合宿を行っています。合宿の面談を通して、受験生にとって大事な夏休みを迎える際に、それぞれの受験生の課題を、夏休みに入ってすぐに明確にして対策することができた。冬合宿も冬休みに向けて、休み期間中の一日の勉強スケジュールを組み、実際にとりくみイメージしてもらうことも目的にしており、その効果を出すことができました。また受験生以外の生徒も、受験生が真剣に向かっている姿をみることで勉強や学ぶことの意義をかんじてもらうことができました。

【組合員へのメッセージ】

食材の価格が高騰するが、生徒は増えているため、経費が毎年右肩上がりが増えていく現状に、東都生協さんの安心な食材を受け取れることは大変ありがたい。生徒たちが苦手な勉強に向き合い、ひたむきに問題を解いていく姿があるのは「応援してくれる人の存在」を日々感じているからだと思います。

毎年発行している卒業文集でも応援者さんへの感謝の言葉がつつられています。受験シーズンの冬合宿は、食事以外は勉強というスケジュールのため、一番笑顔がみられるのは食事タイムです。人が苦手なことに立ち向かえる力になるのは、人の応援と美味しい食事だとつくづく感じます。いつもありがとうございます。

【感想・意見・要望など】

すみれ塾立ち上げ当初は単にひとり親家庭、多子世帯家庭で有料塾に通えないお子さんに学習支援を行っていたが、コロナ禍から

子どもたちの環境がどんどん変わっていったように思う。現在はひとり親家庭＋発達障害、多子世帯家庭＋虐待傾向など子どもたちの悩みや環境が複雑になっているため、ただ単に勉強を教える以外の支援が必要になってきており、ボランティア団体としてどこまで支援するのか難しくなってきた。また、不登校のお子さんがとても多く、フリースクールといっても高価であったり、ゴール設定が明確化（ただ単に折り紙をしたり外で遊ばせるなど）されていないため学力が乏しく、受験生になって無料塾に問い合わせてくる家庭も多いが、基礎学力が定着してないとリカバリーするのがとても困難であり、公教育になじめなくても負担なく公教育の内容を少しでも学べる機会や場所を増やしていく必要があると感じます。